

ほくたん^{だよ}便り

No.12

2012 (平成24年)
1 月 発 行

■編集 / 発行：北但行政事務組合
■組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町



正副管理者が環境省 高山政務官に要望書を提出

着実な事業実施に向け
環境省へ交付金の満額支給を要望
(詳細は7ページ掲載)



順調に進む文化財調査

◀上木谷遺跡群(竹野町坊岡)の発掘調査の様子

構成市町の概要 (平成23年12月1日現在)

市町名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)
豊岡市	88,257	32,513	697.66
香美町	20,617	6,853	369.08
新温泉町	16,604	5,834	241.00
計	125,478	45,200	1,307.74

もくじ

- 管理者・議長あいさつ…………… 2～3
- 組合ニュース…………… 4～8
- 議会・事業実施状況・お知らせ



「ほくたん便り」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。



副管理者
岡本 英樹(新温泉町長)



副管理者
長瀬 幸夫(香美町長)



北但行政事務組合
管理者 中貝 宗治(豊岡市長)

『いよいよ現地で工事を開始』

あ けましておめでとうございます。この新しい年、北但ごみ処理施設は、いよいよ現地で工事が始まります。敷地造成・進入道路の工事です。昨年11月、工事の請負契約が議会で承認され、現在、工事の準備が進められています。

平成10年12月に、北但1市10町(当時)で整備する方針が決定されてから、実に13年になります。ひとつひとつ課題を解決しながら、ようやくここまで来ました。

○一部用地の収用裁決は審理中

用地については、これまで精力的に地権者の皆様と話し合いを続け、これまでに約32・6ヘクタールの用地買収が完了しています。特に、施設整備に最低限必要として都市計画決定を行った8・8ヘクタール部分については、残り0・3%、2228・82平方メートルだけが土地所有者のご理解が得られていない、というところまで進んできました。

この部分と土地所有者のご理解は得られたものの反対者によって立木トラストが設定されているため土地の任意買収ができない9・987・51平方メートルについて、昨年、やむなく土地収用の裁決申請をしました。現在、県の収用委員会が審理が行われています。収用委員会の審理では、権利関係と補償費について審査が行われることとなります。

なお、用地買収についてご理解を

いただいたものの立木トラストによる任意買収ができない土地の所有者の方々からも、収用裁決による一日も早い解決の要望をいただいているところではあります。

これまでにこの事業にご理解とご協力をいただいていた多くの地権者の皆様のお気持ちが無駄にしないためにも、着実な事業進展が図られるよう、引き続き努力をまいります。

○なぜ1市2町で設置するのか？

ごみ問題は、ごみを徹底的に減量する、このことがまず基本です。しかし、それができず、現実問題としてごみは出てきます。どうしても出てくるそのごみを、私たちは安全に、衛生的に、確実に、かつ環境への負荷を極力抑えながら処理する必要があります。

北但1市2町の現在のごみ処理施設は建設後相当の年数が経過し、老朽化が進んでいます。建て替えをしなければなりません。そこで、これまでどおり別々に3施設を作りごみを処理するのか、それとも共同で設置し処理をするのか。真剣に議論がなされて、私たちは共同設置の道を選びました。理由は3つあります。

①3施設別々に作るよりも共同設置するほうが20年間で約38億円市町負担、すなわち住民負担が安くつく(逆に、3つ別々に作ると38億円高つく)、

②ダイオキシン対策が徹底できる、

③ごみを燃やすことよって発生する熱で発電ができるということです。

○ごみ発電は5,000世帯分に相当

昨年、福島原発事故以来、節電が国民的課題となっています。新しい施設では、ごみの焼却で発生する熱のより有効な利用が可能になり、一定の条件下での計算ですが、一般家庭5,000世帯の消費電力に相当する電気を発電することができるようになります。その分電力会社の負担が減ることになります。

○二酸化炭素の排出は約32%削減

自家発電が可能になることから、現在の1市2町のごみ処理施設で発生する二酸化炭素の量に比べ、新しい施設では排出量を32%減らすことができる計算になります。

○約50人の雇用を想定

新しい施設では、約50人の従業員が働く規模を想定しています。地元雇用の実現を極力図っていくつもりです。

○平成27年度完成をめざして

新施設は、平成27年度竣工・28年度稼働をめざしています。もちろん、今なおごみ処理施設について疑問点や不安をお持ちの方々がおられます。今後も真摯に説明をし、ご理解をいただく努力を続けながら、着実に事業を進めてまいります。皆様方のご理解とご支援をお願いします。

今年1年が皆様方にとってよい年になりますように。



副議長 西脇 明(新温泉町議会)



北但行政事務組合議会 議長 芝地 邦彦(豊岡市議会)

『工事の着実・安全な施工を願う』

組合議員のご紹介 (平成23年11月28日現在)

11月10日に豊岡市議会、11月21日に新温泉町議会が開催され、北但行政事務組合選出議員の改選がありました。11月28日に組合議会臨時会が開催され役員改選がありました。

(敬称略)

議長	芝地邦彦	豊岡市議会
副議長	西脇明	新温泉町議会
監査委員	かど門 間 雄 司	豊岡市議会
議員	あじかわ としあき 安治川 敏 明	豊岡市議会
	いとう ひし 伊藤 仁	豊岡市議会
	いとう まさはる 井上 正 治	豊岡市議会
	うえだ ひろ博 植田 隆 博	香美町議会
	おかや くにひと 岡谷 邦 人	豊岡市議会
	かんぬき くにお 関貫 久 仁 郎	豊岡市議会
	しまざき ひろゆき 嶋崎 宏 之	豊岡市議会
	たにぐち いさお 谷口 功	新温泉町議会
	たのてつ おお夫 田野 哲 夫	香美町議会
	にしむら きみこ 西村 公 子	新温泉町議会
	ふるち のぶ ゆき幸 古池 信 幸	豊岡市議会
	みねたか まさゆき 峰高 正 行	豊岡市議会
	もり としあき 森 利 秋	香美町議会

◎議会運営委員長、○同副委員長

新 年あけましておめでとうござい
ます。

昨年11月、第81回北但行政事務組
合議会におきまして議長には私、豊
岡市議会の芝地邦彦が、副議長には
新温泉町議会の西脇明氏が就任いた
しました。

もとより微力でございますが、地
域住民の信頼にこたえる議会活動を
と意を新たに、誠心誠意全力を傾
注する所存でございますのでよろし
くお願いいたします。
○**着実に進んだ1年でした**
昨年は、未取得用地の取得に向け

て、任意での取得に努められていま
したが、事業スケジュールなどを勘
案し、やむを得ず10月には土地収用法
に基づく裁決の申請が行われました。

また、DBO事業者選定アドバイ
ザリー業務や、進入道路・敷地造成
工事の請負契約が締結され着実に事
業が執行された1年でした。

○新しい環境の創造を

今年からは、進入道路や敷地造成
工事などが本格的に実施されます。

現施設の損耗状況や構成市町の財
政に与える影響を考えると、事業の
遅れは許されません。

新しい施設は、自然との共存・共
生や、資源の循環と環境の保全につ
いて考える施設として計画されてい
ます。

北但ごみ処理施設が単にごみ処理
をするだけにとどまらず、基本理念
である「環境学習と地域交流ができ
る新しい環境の創造」を育む拠点施
設となるよう切に願うものです。

本年も北但1市2町の皆様のご理
解と、温かいご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。同時に、皆様
のご多幸を祈念し年頭のごあいさつ
いたします。

◆組合議会管外視察研修

(平成23年7月4日～5日)

北但ごみ処理施設から排出される焼却灰及びばいじんをセメント原料として再資源化するため、(財)ひょうご環境創造協会と住友大阪セメント(株)が共同で実施するセメントリサイクル事業を、最新のごみ処理技術と施設周辺の環境整備のあり方について、高松市南部クリーンセンター及び鳴門市リサイクルプラザを視察しました。



住友大阪セメント(株)赤穂工場 (H23.7.4)



鳴門市リサイクルプラザ (H23.7.5)



高松市南部クリーンセンター (H23.7.5)

◆第80回組合議会定例会

(平成23年10月24日～11月2日)

繰越計算書の了承、23年度補正予算を可決、22年度決算を認定

平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、平成23年度一般会計補正予算第2号、平成22年度一般会計歳入歳出決算の認定について提案し、原案のとおり了承、可決、認定されました。

◆第81回組合議会臨時会・第56回議員協議会

(平成23年11月28日)

組合議員役員改選と工事請負契約の締結

組合正副議長の改選及び議会運営委員の改選を行いました。

管理者からは、議会選出の監査委員の選任について提案し、原案のとおり同意されました。

また、進入道路・敷地造成工事の工事請負契約の締結について提案し、可決されました。契約の相手方は竹中土木・徳網・但馬土建・山口工務店特別共同企業体です。



組合議会議員 (第81回組合議会臨時会にて)

第82回組合議会定例会を開催します(予定)

とき…平成24年2月13日(土)～14日(日)

ところ…香美町議会議場(香美町役場内)

〒669-6592 香美町香住区香住870-1

歳入		(千円)
分担金及び負担金		173,183
国庫支出金		24,501
繰越金		140,267
諸収入		1,480
合 計		339,431

歳出		(千円)
議会費		1,557
総務費		29,759
広域ごみ・汚泥処理施設整備事業費		297,458
合 計		328,774

負担金のうち各市町割合			(千円)
豊岡市	101,970		58.9%
香美町	38,227		22.1%
新温泉町	32,986		19.0%
合 計	173,183		100.0%

平成22年度一般会計決算額は、歳入総額339,431千円、歳出総額328,774千円で、歳入歳出差引額は10,657千円であり、この額から翌年度に繰越すべき繰越明許費の繰越財源7,302千円を控除した3,355千円を平成23年度に繰越しました。主な実施事業は下欄のとおりです。

◎平成22年度決算と
主な実施事業について

◇平成22年度 主な実施事業

項 目	事 業 内 容 等
市道坊岡本見塚線待避所設置工事	主要地方道日高竹野線から事業地への道路（市道坊岡本見塚線）は、幅員が全線狭小であるため、交互交通が可能となるよう部分的に待避所を2箇所設置し、円滑な通行が確保できるようにしました。
生活環境影響調査業務（繰越明許分）	廃棄物処理法により義務付けられた調査（大気質、騒音、振動、悪臭、水質の5項目）と、建設地である豊岡市竹野町森本区及び坊岡区の地域特性を考慮した調査（土壌、動物、植物の3項目）を実施し、施設が周辺に及ぼす影響を事前に予測・評価し、その影響の程度を明らかにしました。
敷地造成実施設計等業務（繰越明許分）	ごみ処理施設整備の実施に必要な地質調査、敷地造成及び進入道路等実施設計を行い、工事発注に必要な設計図書を作成しました。
敷地造成比較検討業務	ごみ処理施設の都市計画決定に際し、敷地造成の位置についての比較検討を行いました。
都市計画図書作成業務	ごみ処理施設の都市計画決定に際し、添付資料の作成を行いました。
埋蔵文化財調査業務	施設用地及び進入道路の建設地において、埋蔵文化財の調査を行いました。
水源・水質調査業務	熱回収施設の機器冷却水及びボイラー用水として井水を利用する計画のため、水源の確保と水質の調査を行いました。
進入道路に係る用地測量業務	ごみ処理施設への進入道路に必要な用地を分筆するため、用地測量を行いました。
敷地造成実施設計等業務（その2）	進入道路実施設計の進捗に伴い、盛土部において新たな擁壁構造が追加となり、その構造計算を行いました。また、工事前仮設橋が必要となったため、その詳細設計を行いました。
広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会	第10回委員会（平成23年3月30日開催）において、組管理者に施設の啓発機能等の整備計画や周辺整備のあり方等についての検討結果の報告がされ、所掌する事務が終了したため、委員会は解散されました。



水源・水質調査

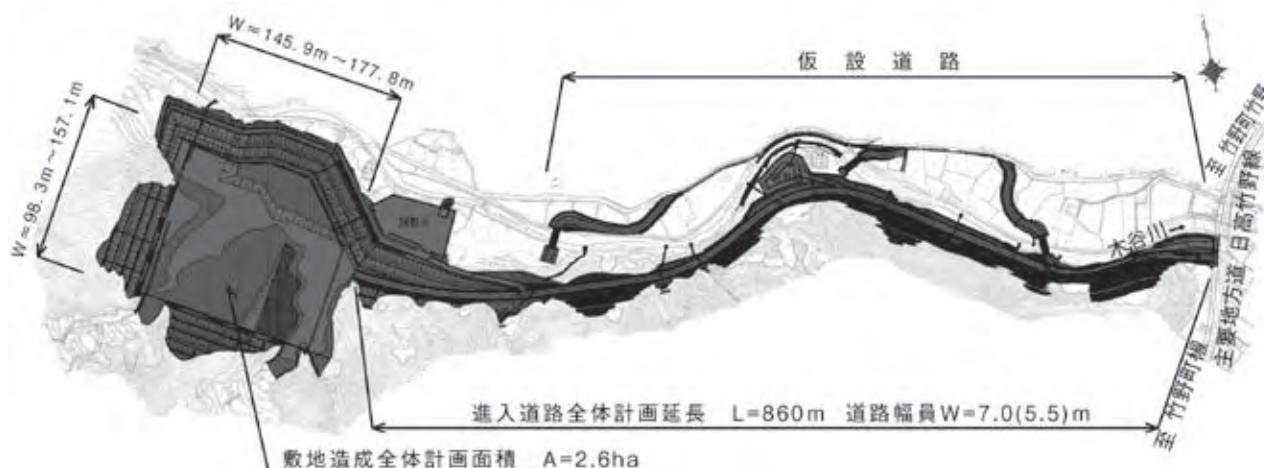


待避所設置工事

◆平成23年度 主な事業

業務（工事）名	目的・内容
北但ごみ処理施設整備事業用地取得支援業務	土地収用制度活用のための手続き、課題等への対応について支援を受けます。
北但ごみ処理施設整備事業に係る埋蔵文化財調査業務	平成22年度に引続き、「上木谷遺跡群」の詳細な調査を行います。
北但ごみ処理施設に係るDBO事業者選定アドバイザー業務	北但ごみ処理施設整備事業を公設民営（DBO）方式で行うための事業者の募集、事業者の選定及び事業者との契約締結までの総合的な支援等を受けます。 （平成23年度～平成25年度）
用地境界杭設置業務	北但ごみ処理施設用地の管理のため、用地外周（官民境界）に境界杭の設置を行います。
進入道路・敷地造成工事	北但ごみ処理施設用地の進入道路及び敷地造成工事を行います。 （平成23年度～平成26年度）

※進入道路・敷地造成工事の全体計画平面図



事業概要説明会

平成23年7月1日に県知事より都市計画事業認可が告示されたことを受け、8月25日、関係権利者、事業地及び附近の住民、市民全般を対象に、豊岡市竹野南地区公民館にて、説明会を開催しました。

この説明会は、都市計画法第66条の規定により、事業の概要や事業地内における土地取引の制限などについてご理解いただくために行ったものです。

「北但ごみ処理施設」
事業概要説明会を開催

環境省に要望書を提出しました



平成23年10月20日、中具管理者、長瀬副管理者、岡本副管理者の3人は、環境省を訪れ、高山智司政務官に面会し、施設整備のための循環型社会形成推進交付金の満額支給を求める要望書を提出しました。

平成20年以降、交付金は要望どおり交付されてきましたが、今年度は国の財政上の都合から35%の内示となっており、来年度以降も減額が見込まれることから、着実な事業推進に向け、財源確保のための要望をしたものです。

土地収用制度活用のための準備作業を実施しました

平成23年8月11日と12日、土地収用法第35条の規定に基づく立入調査を実施しました。



立木調査①



立木調査②

収用裁決を申請しました

平成27年度竣工のための工程等を勘案し、平成23年10月14日、兵庫県収用委員会に、事業認可区域8.8haのうちの未買収地(9,987.51㎡、約11.3%)について、収用裁決の申請をしました。

12月5日に第1回審理が、同月12日には収用委員会による現地調査が行われ、現在も審理は継続しています。

収用裁決とは

公共事業の用に供するため、土地の所有権その他の権利を、収用委員会（委員は都道府県議会の同意を経て任命された収用委員により構成される）での審理や裁決など、一連の手続きを経て、国又は地方公共団体等に取得させる行為をいいます。



現地調査を行う収用委員会の委員（H23.12.12）

平成24・25年度

北但行政事務組合入札参加資格審査申請書の受付を行います。

組合では、入札参加資格登録の期間満了に伴い、平成24・25年度に組合が発注する建設工事、測量・建設等コンサルタント業務、物品製造等の入札に参加を希望する業者の方、または組合と物品納入および役務の提供等の取引を希望する業者の方は、入札参加資格審査申請書（指名願い）の提出が必要となりますので、所定の申請書を提出ください。

なお、これまで登録されていた業者の方でも、今回新たに申請のない場合は、平成24年4月以降の入札・見積りには参加できませんのでご注意ください。

■受付期間 2月10日（金）～3月12日（月）必着（郵送可）

※ 詳細は、提出要領に従ってください。

※ 提出要領・申請書様式は、組合ホームページ（ダウンロード可）をご覧ください。
（北但行政事務組合の窓口でも配付しています。）

■ホームページ <http://www.hokutan.jp/>

■問合せ・提出先 〒668-0011 豊岡市上陰178番地の1
北但行政事務組合 施設整備課 総務係
TEL 0796-24-5504

☆どんぐりプロジェクトが始動

施設周辺の豊かな自然環境を保全し、荒廃した森林・里山を再生する取り組みの一環として、竹野町内の小学生による「どんぐりプロジェクト」が始動しました。

自然環境への関心を高め、自然と共存・共生する意識と行動力を育成するため、竹野町内3小学校の1年生から3年生の児童により、外来種ではなく、竹野町域に自生している「コナラ、ミズナラ、スダジイ」などの樹木を育苗し、3～4年後に施設周辺へ植栽するプロジェクトのスタートとして、11月中旬に種をまきました。



住民監査請求について

平成23年9月13日に監査委員に提出された北但行政事務組合職員措置請求（住民監査請求）「北但行政事務組合の事業費の支出内容等」については、監査の結果、11月9日に棄却されました。